

給食だより 10月

都立農産高等学校

すっかり秋らしくなり、過ごしやすい季節になりました。「運動の秋」「読書の秋」「芸術の秋」そして、「食欲の秋」ですね。この時期は季節の変わり目です。体調を崩さないように、食生活の面からも十分に気をつけましょう。

体育の日の意味と由来

 1964年10月10日、日本で初めてとなる五輪大会「東京オリンピック」の開会式が行われました。

これを記念して1966年から国民の祝日に関する法律に基づき10月10日が体育の日に定められました。「スポーツにしたいし、健康な心身をつちかう」ことを趣旨として定められた祝日です。2000年からは「ハッピーマンデー制度」が用いられ、10月の第2月曜日となっています。なお、名称も変わり「スポーツの日」となりました。スポーツの秋です。日頃運動不足の人は、この日を機会にスポーツを日常的に取り入れてみてはいかがでしょうか。

おいしく作っています

この頃は空が澄み、一年中で月が一番美しいとされていたので、この日の月を大切にしてきました。日本では昔から四季おりおり、お祭りや行事が行われ、人とのかわりを大切にしながら喜びをわかちあってきました。皆さんが食べている給食も、人とのかわりを考えて作られています。残さず食べてもらえるとやりがいがあるのでありますが……



「世界食料デー」月間とは？

10月16日は世界食料デーです。この日をきっかけに、飢餓や食料問題について考え、解決に向けて一緒に行動する一か月です。



今、世界ではすべての人が食べられるだけの食料は生産されているのに、9人に1人が十分に食べられていません。日本も含む国際社会は2030年までに「飢餓をゼロに」することを約束しましたが、様々な問題が相互に関係し合い、複雑になっている飢餓や食料問題の解決には、たくさんの人の協力が必要です。



国連が定めた「世界の食料問題を考える日」です。世界の一人ひとりが協力し合い、最も重要な基本的人権である「すべての人に食料を」を現実のものにし、世界に広がる飢餓、栄養不良、極度の貧困を解決することを目的としてい

ます。毎年、世界食料デーの前後には食料問題に関する国際的な政策を話し合う「世界食料安全保障委員会」が開催されるほか、世界各地でイベントが実施されます。世界ではすべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されています。それにもかかわらず、世界では7億9500万人が十分に食べられていません。徐々に減少していますが、未だに9人に1人が飢えています。食べられない人の数や割合を地域別に見ると、南アジアとサハラ以南のアフリカが特に深刻です。